

社会が変わる、学びが変わる

環境情報学部が変わる

ソサイティ5.0

[SOCIETY5.0]

という日本の未来が
「公私協力型大学＝四日市大学」
に期待している

YOKKAICHI UNIVERSITY

[SOCIETY5.0] Key word [ソサエティ5.0]

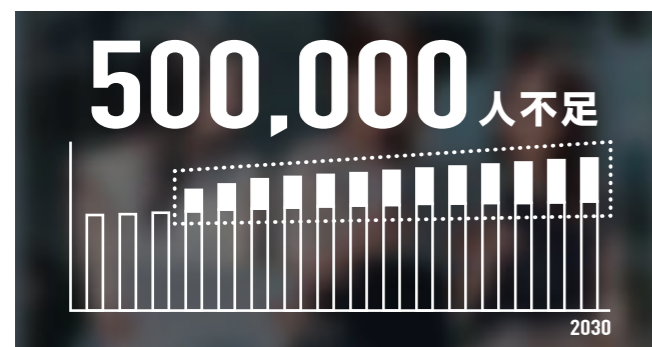
政府が提唱する日本の未来づくり『Society5.0』が進行しています。
 “超スマート社会”と呼ばれる未来社会で、あなたはどのように生きていきますか？



超スマートな未来社会において、四日市大学に期待が集まる理由とは？

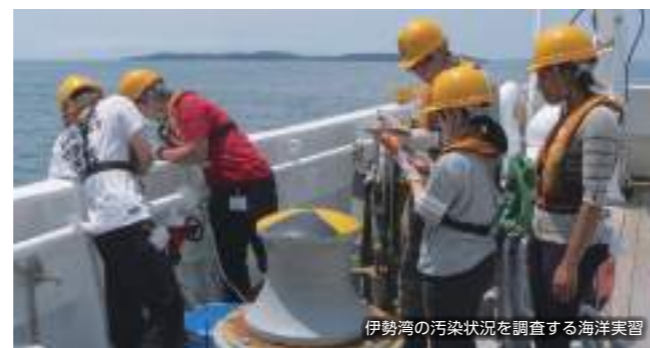
Society5.0のキーテクノロジーを理解・活用できる人材への期待。

Society5.0を実現するためには、多様化するメディアをはじめ、AI・ロボット・IoT技術に精通した人材が不可欠です。しかし、2030年には関連人材が50万人不足するといわれており、『メディア情報学』に強い四日市大学への期待がますます高まっています。



地球規模の環境課題をふまえて、地域循環共生を実現する人材への期待。

Society5.0社会においても「環境問題」は重要な課題であり、プラスチックごみによる海洋汚染など、地球規模の環境問題に関する知識や解決のためのノウハウがある人材が求められています。そのためには文系・理系の枠を超え、「環境問題」の科学的・実践的な教育が必要となります。



「環境科学専攻」&「メディア情報専攻」が誕生!

2つの新・専攻を通し、「Society5.0」社会にかなう人材を育成します。

SDGs実現につながる環境科学を学ぶ

環境科学専攻

科学的実験・環境分析の技術が身につきます。

現在、自治体・企業など多くの組織が、環境問題に取り組む専門の部署を設けています。「環境科学専攻」では、大気・水・土壌などの環境分析や科学的な実験技術を修得できる実践的な学びが充実しています。

環境農学研究室

地域の温泉を使ったトマトの栽培実験、竹粉を利用した水田の土壌改良実験など、持続可能な農業にかかわる研究を行います。



生命科学研究室

水辺や里山の生態系や自然環境への理解を深め、環境問題への意識向上を図るとともに、生物と環境に関するバイオサイエンスを学びます。



地域課題を教材に、実践力を養成します。

地域密着・地域貢献型大学の本学では、地域との緊密な連携を通して、リアルな環境問題に取り組むフィールドワークを実践。「地域」を学びの場に、体験を通して地球規模の環境問題解決へのアプローチを学びます。

野生動物保全学研究室

フィールドにおける野生動物の調査手法を習得し、在来生物の保全や外来種の防除、獣害対策について実践的に学びます。



水環境科学研究室

河川や干潟、ため池などの水質分析を行い、水域の物質動態を明らかにしていきます。水域のマイクロプラスチック調査も行っています。



先進的な情報技術とメディア表現を学ぶ

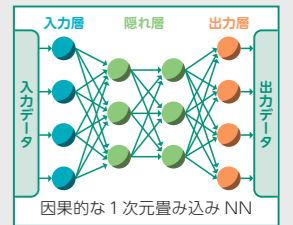
メディア情報専攻

Society5.0に関連した技術が学べます。

Society5.0の基盤となるAI開発やデータサイエンスについて学ぶカリキュラムを新設しました。IT系の仕事はもちろん、今後あらゆるワーキングシーンで求められる先進技術への理解を深め、活用スキルを修得することができます。

Webアプリ・人工知能研究室

AIを用いた音声合成や特定外来生物の画像認識、AIを用いた手書き文字の特徴抽出、各種アプリの開発を行います。



メディア関連の学びも充実しました。

アプリ・ゲーム制作、CG・VRなど、メディア表現の実践的なスキルが学べるカリキュラムも充実しました。メディアと情報、双方の学びを生かすことで、Society5.0への理解が深まります。

デジタルコンテンツ研究室

モーションキャプチャーによる仮想空間とのインタラクションインターフェイスの制作や、3Dプリンターを使った作品制作に取り組みます。



映像表現研究室

思いや考えを映像化する表現手法を身につけ、作品制作の中心となる撮影や編集、構成・演出まで、即戦力となる人材育成を目指します。



演出照明研究室

光の性質を知り、照明技術の基礎を多角的な視点で学ぶとともに、スタジオ・舞台照明の応用技術を習得します。



スペシャリスト育成プログラム

研究者や技術職を目指す学生のための教育プログラム

環境科学、メディア情報の研究者や技術者への道を目指したい人が、教員（メンター）の研究室に1年次から加わり、研究や学会発表体験、難易度の高い資格取得や大学院進学に向けた学びのサポートを受けられるプログラムです。



理論と実践を兼ね備えた充実のカリキュラム — 環境情報学部 —

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期・後期	
環境科学専攻	学部必修	環境情報学概論Ⅰ	環境情報学概論Ⅱ	環境情報学の基礎を学ぶ 4年間の教育内容を知る				
	専攻必修		環境科学	生態学	環境保全学	環境科学専攻の3本柱の授業 環境科学の基礎を学ぶ		
	演習科目(ゼミ)	入門演習a	入門演習b	基礎演習a	基礎演習b	専門演習a	専門演習b	卒業研究a 卒業研究b
		学びたい分野の研究室に所属し、少人数教育で専門の教員から学ぶ						
	選択科目	伊勢湾海洋実習		海洋環境学		海洋生物学		
			環境生物学	環境微生物学	陸水環境学	河川環境学		
			野生動物学	森林環境学	土壌環境学			
				食糧生産学	農業環境学	流通論	農業経営論	
				生活環境学	都市環境学	都市計画論	都市環境と法	
		地域連携環境講義	環境社会学	地域社会と環境	環境とまちづくり	ツーリズム論		
			地球環境学		環境エネルギー論	資源循環論		
実験・調査系科目群	環境基礎実験	環境実験・調査a	環境実験・調査b	環境実験・調査c				
	化学概論	環境化学						
	生物学概論	自然調査法						
	地学概論							
データサイエンス科目群		データサイエンス概論	データサイエンスⅠ	データサイエンスⅡ	データサイエンスⅢ	環境データ処理		
メディア情報専攻	学部必修	環境情報学概論Ⅰ	環境情報学概論Ⅱ	環境情報学の基礎を学ぶ 4年間の教育内容を知る				
	演習科目(ゼミ)	入門演習a	入門演習b	基礎演習a	基礎演習b	専門演習a	専門演習b	卒業研究a 卒業研究b
		学びたい分野の研究室に所属し、少人数教育で専門の教員から学ぶ						
	データサイエンス系列		データサイエンス概論	データサイエンスⅠ	データサイエンスⅡ	データサイエンスⅢ	環境データ処理 AI概論 データサイエンス実習	
	情報科学・処理系列	情報科学概論	情報科学	情報理論Ⅰ	情報理論Ⅱ	次世代メディア情報		
			ハードウェア概論					
		ソフトウェア概論	プログラミング実習基礎	プログラミング実習応用Ⅰ	プログラミング実習応用Ⅱ	ソフトウェア工学概論		
	プログラミング系列		WebプログラミングⅠ	WebプログラミングⅡ	Webデザイン		データベース実習	
	グラフィックス系列	グラフィックツールⅠ	グラフィックツールⅡ			コンピュータグラフィックス		
	メディア論系列	メディアリテラシー				先進メディア論	先進メディア技術	情報系とメディア系を接続
	メディア概観	メディア情報と文化		地域社会とメディア情報		メディア情報産業論		
メディア技術系列			音と光の科学	メディア表現の科学				
		映像概論	映像技術					
			ビデオツール					
		音響照明概論	音響照明技術	電子音楽ツール				
作品制作系列		感性と創造	作品制作					

学校法人 暁学園



世界を見つめ地域を考える

四日市大学

〒512-8512 三重県四日市市萱生町1200

入試広報室 TEL 059-365-6711 / E-mail nyushi@yokkaichi-u.ac.jp

https://www.yokkaichi-u.ac.jp/

このパンフレットは2022年4月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。

受験生サイト

